



NPO法人 西東京臨床糖尿病研究会

MANO a MANO

～「mano a mano」とはスペイン語で「手から手へ」という意味です～

会員総数 755人

医師 161人

コメディカル 594人

【管理栄養士紹介登録数37人】

平成20年3月20日現在

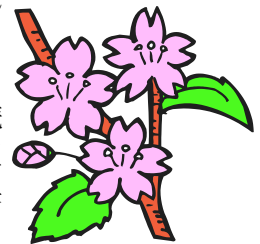
《目次》

～食事療法のEvidence～ 西村一弘先生	Page 1
研究会等の実施報告	Page 2、3
研究会他のお知らせ	Page 4

～食事療法のEvidence～

当研究会理事 緑風荘病院 栄養室・健康推進部
西村 一弘

DCCT以降、UKPDSやDECODEstudyなど多種多様な、エビデンスレベルの高い大規模前向き追跡調査が行なわれ、治療効果の科学的な根拠も明らかとなりました。また、糖尿病と関連の深い疾患である高血圧や脂質異常症においても、薬物治療を中心にたくさんの方の研究結果の報告がされています。その中で常に疑問となる結果が、食事療法単独群の追跡結果です。例えばUKPDSの食事療法群では追跡5年後に平均体重が増加していますが、食事療法を5年間継続できていた群であれば、体重減少が当然であり、増加することは考えにくいと思います。従って、この研究における食事療法群とは、食事療法脱落群と考えるべきではないかと思えます。他の様々な研究においても同様に、食事療法を脱落したと考えられる群が、食事療法単独群として発表されていることに、深く疑問を感じています。1施設の少数例では信憑性に乏しいと思われませんが、私が継続的に栄養指導を5年以上実施している糖尿病患者を無作為に10名抽出し、平均体重を指導開始前と5年後で確認したところ、8症例が体重減少をしていました。減少していない症例もほぼ横這いで、1.5kg以上の増加例はありませんでした。重症例で痩せこけてしまい、薬物治療により体重が戻るような症例を除き、食事療法を実施してエネルギーコントロールやバランスコントロールを行なうと、体重は減少することが殆どであり、増加することは考えにくいと思われれます。今後は、食事療法が継続的に実施できた群と実施できなかった群を分類して検討し、食事療法の治療効果におけるEvidenceを残していくべきと考えます。また、糖尿病患者が継続的に食事療法を実行できるようなサポートが、少しでも多くの医療機関で行なえるように、本当の意味での食事療法群の治療効果を検証していきたいと思えます。



研修会等の実施報告

第5回 糖尿病スキルアップセミナー報告

平成20年1月20日(日)三鷹産業プラザにおいて開催されました。

当研究会理事 医師向けスキルアップセミナー担当
都立府中病院 西田 賢司

第5回 医師向けスキルアップセミナーが平成20年1月20日(日)三鷹産業プラザで開催されました。キャッチフレーズは、『これで納得、経口糖尿病薬～これで、明日からの診療が変わります～』というタイトルで、開業医の先生方がもっとも直面するであろう糖尿病の経口薬をメインテーマとして取り上げました。プログラムは、スキルアップセミナーの定番となってきた午前中講義、午後には最初にコメディカルからの講義その



後、小グループによる症例検討という構成で行いました。参加者は14名とやや少なめでしたが、参加された先生方からは特に症例検討について積極的なご参加をいただき、活発な討論が交わされました。

さて、スキルアップセミナーも5回を終了しました。現在の開催形式では日曜日をほぼ1日を使ってということで、参加される方も貴重なお休みを1日つぶしてしまうことになります。またスタッフもかなりの数を動員しなければならぬため、現在

見直しを進めております。一つの案として、好評な症例検討をメインとして、医師会の勉強会との共催なども検討しております。

昨今の研究会、コメディカルの方々の参加はどんどん増えて喜ばしい限りですが、医師の参加もアップしていけるようこれからも活動していきたいと思っておりますので、ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。



～お詫びと訂正～

平成20年3月号(第57号)第5回スキルアップセミナーの記事において西田賢司先生の講演写真を片山隆司先生と誤って掲載してしまいました。西田先生、片山先生にお詫びすると共に訂正させていただきます。

第18回 多摩糖尿病チーム医療研究会 薬剤師分科会

平成20年2月20日（水）東京都国分寺労政会館において開催されました。

過日2月20日（水）に東京都国分寺労政会館において「第18回多摩糖尿病チーム医療研究会 薬剤師分科会」が開催されました。今回は東村山市の緑風荘病院 山崎先生を当番世話人として、前半は糖尿病Q&Aを出席者参加型で行い、緑風荘病院での療養病床入院糖尿病患者の今後についての症例検討を行いました。後半は「機能性食品の種類とその位置付け」という演題で、独立行政法人国立健康・栄養研究所情報センター健康食品情報プロジェクトリーダー梅垣敬三先生に特別保健用食品、栄養機能食品など各種健康食品の違いについてご講義頂きました。具体的に各種ウコン粉末中の産地・収穫時期でのミネラル含量の違いや、普段、健康に良いと思われる健康食品で健康被害が起こることもあるとの警鐘を鳴らすとともに、糖尿病患者さんがよく飲んでいると思われる難消化性デキストリン含有茶飲料摂取による血糖値に及ぼす影響についてご紹介されました。最後に参加された薬剤師の先生方に対し、hfnetのデータベースを紹介し、消費者に対して正しい認識をして頂きたいと締められました。会終了後も普段耳にするものの、違いの分からない健康食品についての質問が多くなされ、盛況のうちに本会は終了しました。



第8回 西東京糖尿病療養指導士 認定試験

平成20年2月17日（日）東京農工大学 小金井キャンパスにおいて実施されました。

当日は「西東京療養指導士養成講座」を修了した158名の受験者が熱心に試験問題に取り組みました。

※試験受験者には3月上旬に合否通知を送付済みです。まだ合否通知が届いていない方は至急事務局までご連絡下さい。





研究会他のお知らせ

・直接事業 ・間接事業

◆ 第90回 実践栄養指導勉強会 (※お申込は不要です)

開催日 : 平成20年4月23日(水) 18:45~20:15

場所 : 緑風荘病院併設グリーンボイス1階デイルーム
西武多摩湖線 八坂駅下車1分(東村山市萩山町3-31-1)

参加費 : 会員無料 非会員:500円

テーマ : 患者の為の栄養教育、その理論と実践(仮)
~LPDを成功させるために~

講演: 昭和大学藤が丘病院腎臓内科客員教授 出浦 照國先生

☆西東京糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位: 2単位

※勉強会終了後に出浦先生を囲んで懇親の場を用意していますのでご参加下さい。

◆ 第16回 武蔵野糖尿病医療連携の会 (※お申し込みが必要です)

開催日 : 平成20年5月10日(土) 17:30~19:30

場所 : ザ・クレストホテル立川 4階「桜の間」
立川市錦町1-12-1 TEL042-521-1111

参加費 : 医師 1000円 医師以外 500円

テーマ : 「外来インスリン治療における療養指導」
「二相性インスリンアナログ3回注射法の実際」
「強化インスリン療法導入の実際」
「糖尿病腎症の進行を阻止するために」

☆日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位(第2群)申請中

☆西東京糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位: 2単位

※お申込はEメールにてお願いします。

宛先 Hiroyuki.ogura@sanofi-aventis.com



事務局から会員の皆様へのお願い

平成20年度会費の払込票を同封させていただきました。

期限までに会費の払い込みをお願い申し上げます。

また、退会・住所変更・職場変更等は至急事務局までご連絡下さい。

NPO法人 西東京臨床糖尿病研究会 事務局

〒185-0012 国分寺市本町3-10-22 利エントプラザ402

TEL: 042(322)7468 FAX: 042(322)7478

<http://www.nichi-tokyo-dm.net> Email: w_tokyo_dm_net@ybb.ne.jp

